

2019年7月5日

各位

難民支援のための募金活動報告 「世界難民の日」(6月20日)にあわせた 募金活動を実施し、総額100万円を寄付

大京グループ〔株式会社大京(本社:東京都渋谷区、社長:小島 一雄)他〕は、国連総会で制定された「世界難民の日(World Refugee Day)」(6月20日)にあわせて、2019年6月17日(月)～6月20日(木)の4日間、大京本社をはじめとする大京グループの各拠点で募金活動を実施し、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)の公式支援窓口である特定非営利活動法人 国連UNHCR協会に対して、大京グループ従業員からの寄付金および大京グループとしての寄付金をあわせた総額100万円を寄付することとなりましたので、お知らせいたします。

UNHCRは、難民に対する緊急支援のひとつとして、命を守るシェルター(テントや仮設住居)を供給する活動を行っています。大京グループは、住まいに携わる企業としてこの活動に賛同し、社内にて募金活動を実施しました。



大京本社で実施した募金活動の様子



感謝状贈呈の様子(2019年5月 大京本社にて)
左:国連UNHCR協会 事務局長 星野 守さま
右:株式会社大京 代表取締役社長 小島 一雄

なお、2019年5月2日(木・祝)に京セラドーム大阪(大阪市西区)で開催されたオリックス・バファローズのホームゲーム「大京グループ for 国連UNHCR協会」では、難民支援のためのキャンペーンを実施しました。後日、当日の募金活動による寄付金に加え、大京グループ従業員からの寄付金などをあわせた総額100万円を国連UNHCR協会に寄付し、5月29日(火)には、国連UNHCR協会より感謝状をいただきました。

大京グループは、今後もUNHCRの活動を応援してまいります。

以上

このニュースリリースに関するお問い合わせ先
株式会社大京 経営管理室 広報チーム(水上) TEL:03-3475-3802

■UNHCR（ユーエヌエイチシーアール：国連難民高等弁務官事務所）

UNHCR は、国連難民高等弁務官事務所（United Nations High Commissioner for Refugees）の略称で、1950年に設立された国連機関のひとつ。紛争や迫害により難民や避難民となった人を国際的に保護・支援し、難民問題の解決へ向けた活動を行っています。

■特定非営利活動法人 国連 UNHCR 協会

国連 UNHCR 協会は、日本における UNHCR の公式支援窓口として 2000 年に設立されました。UNHCR 駐日事務所と連携しながら、UNHCR の活動を支えるための広報・募金活動を行っており、寄付に対して税控除のための領収証を発行することができる認定 NPO 法人です。

<https://www.japanforunhcr.org/>

■参考—「難民と進む 20 億キロメートル」について

世界 27 개국で展開するグローバルキャンペーン。紛争や迫害により故郷を逃れた世界中の難民が安全を求めて 1 年間に歩く距離は、総計 20 億キロメートルにも及びます。この歩みを世界の人々と共に体験し、世界全体で 20 億キロメートル到達を目指して進むことで、難民が味わう苦難への理解や、同じ世界に生きる仲間としての連帯感を感じていただくことを目的とし、「走る」「歩く」「自転車をこぐ」などの日々の運動で進んだ距離を登録することでできる難民支援です。



大京グループはこのキャンペーンに賛同し、社員をはじめお客さまに参加を呼びかけています。

◆「難民と進む 20 億キロメートル」大京グループのパートナーシップページ

<https://stepwithrefugees.org/ja-jp/daikyo/>

■参考—ニュースリリース

◆難民支援のための募金活動報告（2019年5月9日）

<https://www.daikyo.co.jp/news/20190509/post-1.php>

◆5月2日イベントのご案内 — 大京グループ for 国連 UNHCR 協会（2019年4月18日）

<https://www.daikyo.co.jp/news/20190418/post-1.php>